

8-1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2011年11月～2012年4月）
**Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts
(November 2011 – April 2012)**

気象庁 大阪管区気象台
Osaka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、近畿・中国・四国地方とその周辺でM4.0以上の地震は15回、M5.0以上の地震は2011年11月21日に広島県で発生したM5.4の地震と2011年12月14日に岐阜県で発生したM5.1の地震の2回である。

2011年11月～2012年4月のM4.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。
主な地震活動は以下のとおりである。

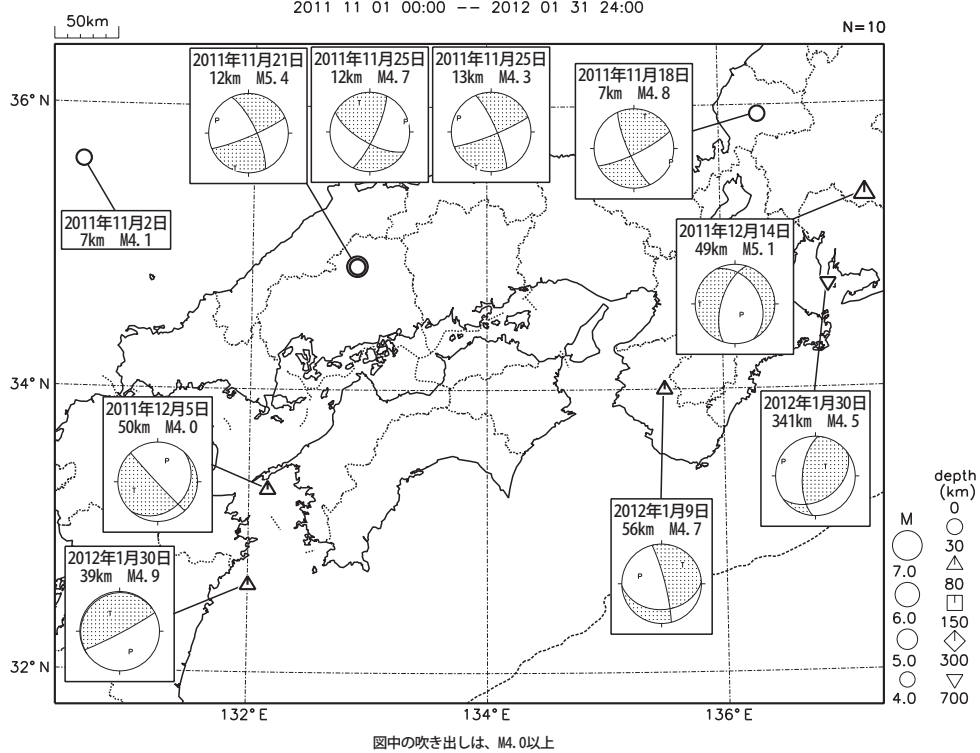
(1) 広島県北部の地震（M5.4，最大震度5弱，第2図）

2011年11月21日19時16分に広島県北部の深さ12kmでM5.4の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

(2) 和歌山県北部の地震（M4.7，最大震度3，第3図）

2012年1月9日00時37分に和歌山県北部の深さ56kmでM4.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は北東－南西方向に張力軸を持つ型である。

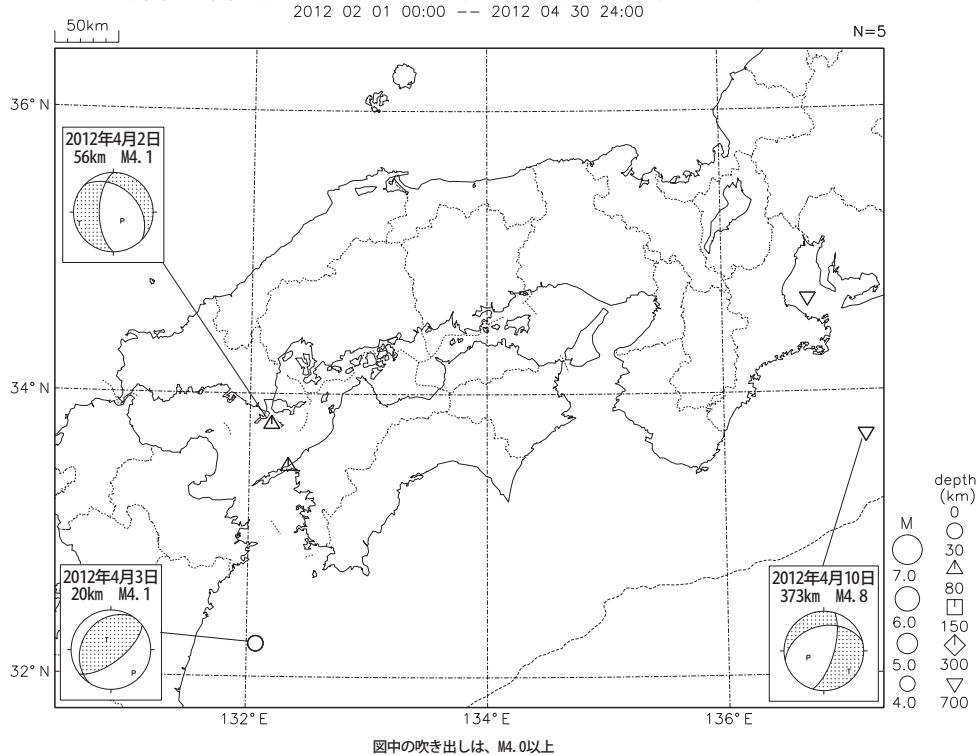
近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2011年11月~2012年1月、 $M \geq 4.0$)



第1図(a) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2011年11月~2012年1月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku districts (November 2011 – January 2012, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2012年2月~4月、 $M \geq 4.0$)



第1図(b) つづき (2012年2月~4月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

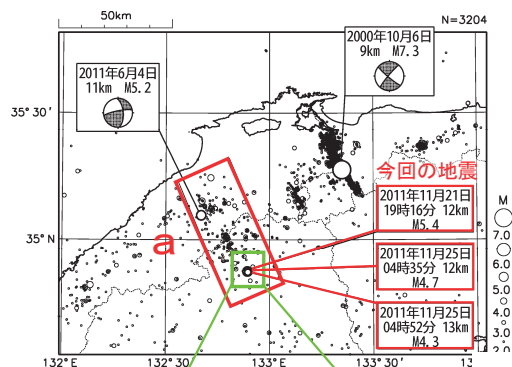
Fig.1(b) Continued (February – April 2012, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

11月21日 広島県北部の地震

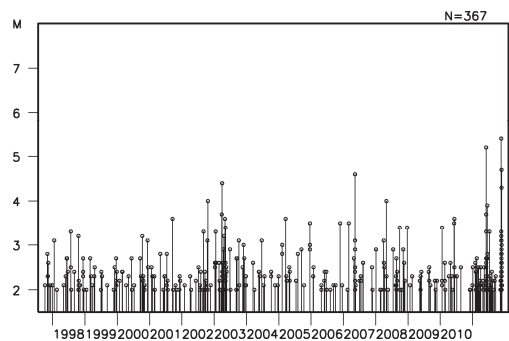
2011年11月21日19時16分に広島県北部の深さ12kmでM5.4の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震では負傷者2人、窓ガラス破損等の被害があった（広島県による）。25日04時35分にM4.7の地震（最大震度4）、25日04時52分にM4.3の地震（最大震度3）を観測するなど、余震活動は活発であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では昨年まではM5.0以上の地震は発生していなかった。2011年6月4日に北北西に30km程度離れた場所でM5.2の地震（最大震度4）が発生している。

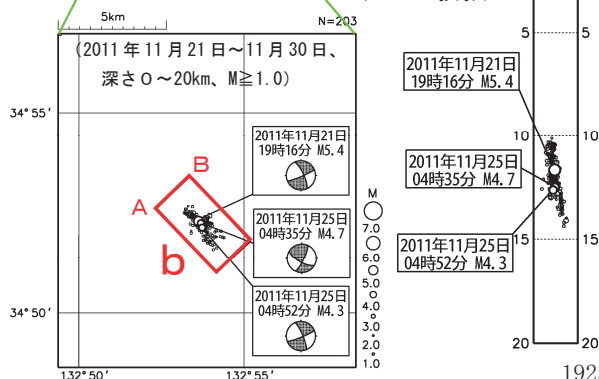
震央分布図（1997年10月1日～2011年11月30日、深さ0～30km、M≥2.0）



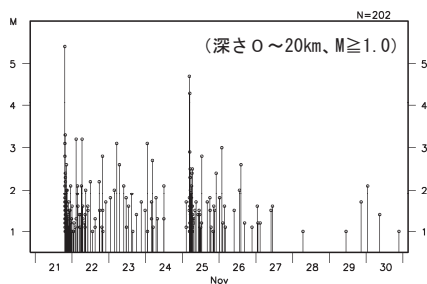
領域a内のM-T図（1997年10月1日～2011年11月30日）



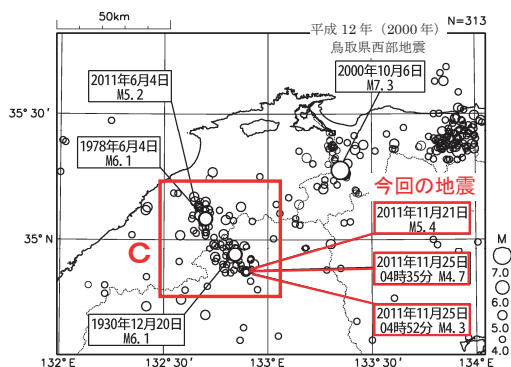
領域b内の断面図（A-B投影）



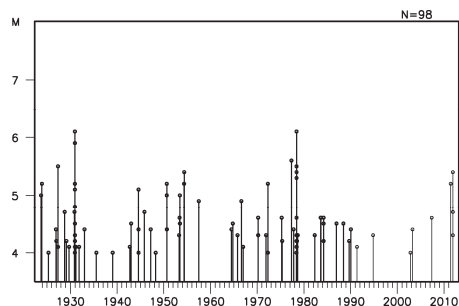
領域b内のM-T図（2011年11月21日～11月30日）



震央分布図（1923年8月1日～2011年11月30日、深さ0～50km、M≥4.0）



領域c内のM-T図



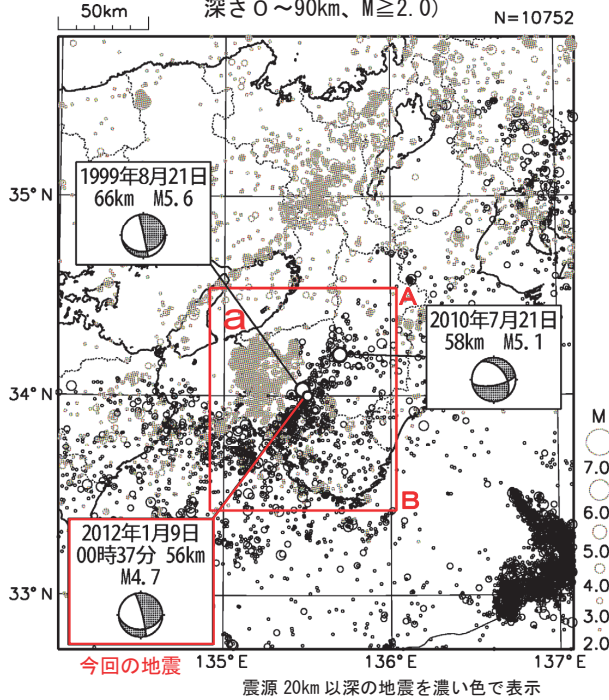
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺ではM6.0を超えるような地震がまれに発生している。1930年にはM6.1の地震が発生し、住家破損1棟、その他石崖崩れ等の被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

第2図 2011年11月21日 広島県北部の地震

Fig.2 The earthquake in the northern part of Hiroshima Prefecture on November 21, 2011.

1月9日 和歌山県北部の地震

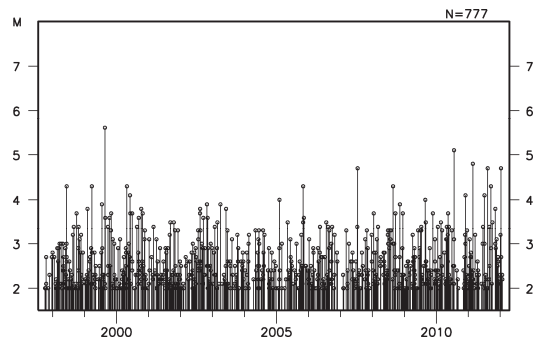
震央分布図 (1997年10月1日~2012年1月31日、
深さ0~90km、M≥2.0) N=10752



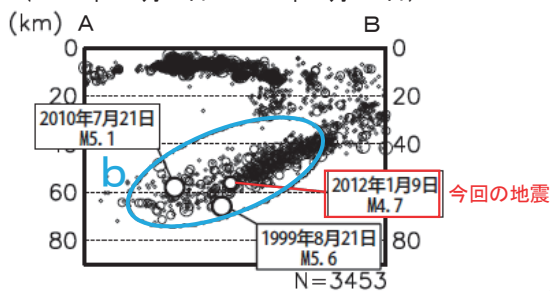
2012年1月9日00時37分に和歌山県北部の深さ56kmでM4.7の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ型であり、フィリピン海プレート内部で発生した。M2.0以上の余震は発生していない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震がときどき発生している。1999年8月21日には今回の地震の近傍でM5.6の地震が発生し、最大震度5弱を観測している。

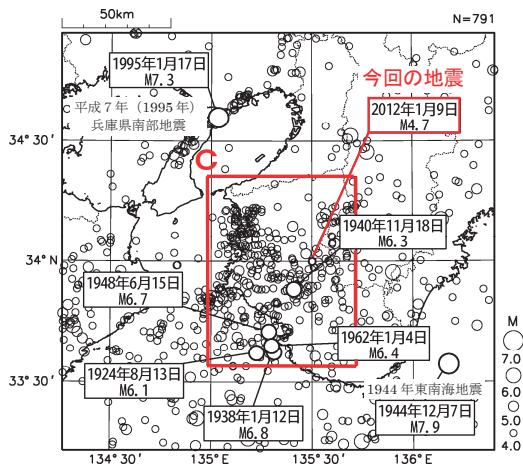
領域 b 内の M-T 図
(1997年10月1日~2012年1月31日)



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)
(1997年10月1日~2012年1月31日)

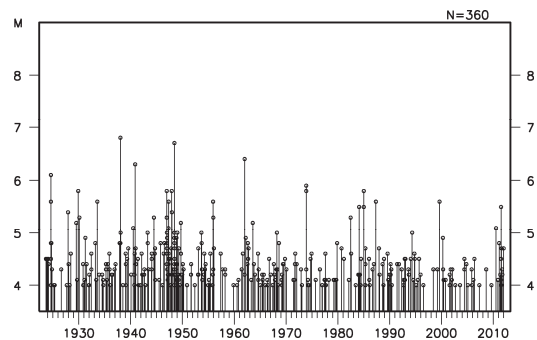


震央分布図 (1923年8月1日~2012年1月31日、
深さ0~90km、M≥4.0)



1923年8月以降の活動を見ると、過去には今回の地震の震央周辺でM6.0を超えるような地震が発生している。1948年にはM6.7の地震が発生し、死者2人・家屋倒壊60棟等の被害を生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 c 内の M-T 図



第3図 2012年1月9日 和歌山県北部の地震
Fig.3 The earthquake in the northern part of Wakayama Prefecture on January 9, 2012.